

自然科学のとびら 1～50号 総タイトル

これまでに掲載された記事の総タイトルを、以下に再掲載します。バックナンバーは、当館のライブラリーをはじめ、神奈川県内の中学校や高校、図書館、博物館、行政施設等で閲覧することができます。また、当館のホームページにも掲載しています。興味のある記事を見つけたら、ぜひバックナンバーを手にとって、また新たな『自然科学の』とびら』を開いてみてください。

- Vol.1, No.1 June, 1995 (通巻 1号)
・表紙「ニホンジカ」(中村一恵)
・「発刊にあたって」(濱田隆士)
・「新しい博物館をめざすもの - 活動の抱負」植物グループ (木場英久)
動物グループ (高桑正敏)
地球環境グループ (平田大二)
古生物グループ (樽 創)
・ミュージアム・ライブラリと博物館情報システム (勝山輝男)

- Vol.1, No.2 Sept. 1995 (通巻 2号)
・表紙「オオムラサキ」(高桑正敏)
・「神奈川県にゆかりの深いチョウ類とその関連資料」(猪又敏男)
・「コノハチョウは木の葉に擬態しているのか? - タテハチョウ類の生存戦略を考える -」(高桑正敏)
・「海に浮かぶ地球のまど」(山下浩之)
・「巻貝のかたち」(佐藤武宏)

- Vol.1, No.3 Dec. 1995 (通巻 3号)
・表紙「メコンプンス・ホリデューラ」(木場英久)
・「展示技法の事柄などから・・・」(森山哲和)
・「朝鮮民主主義人民共和国の地質調査報告記」(平田大二)
・「ネパールヒマラヤの植物調査隊に参加して」(木場英久)
・「博物館実習を終えて」(博物館実習生)
・「ジブティ共和国大統領 生命の星・地球博物館を訪問」

- Vol.2, No.1 Mar. 1996 (通巻 4号)
・表紙「およそ 250 万年前のサル化石 コロブス亜科の頭蓋骨」(広谷浩子)
・「中津層から日本最古のサル化石を発見して」(小泉明裕)
・「中津層のサルがいた時代」(長谷川善和)
・「初公開 神奈川県指定天然記念物『中津層群神沢層産出の脊椎動物化石』について」(松島義章)
・「列島の火山」(小出良幸)

- Vol.2, No.2 May. 1996 (通巻 5号)
・表紙「クロサギ (黒色型)」(中村一恵)
・学芸員研究ノート「サルの群れの『父子関係』」(広谷浩子)
・「北アメリカ東部の博物館をたずねて」(大島光春)
・「博物館情報システム Q&A」(鈴木智明)
・「海底の化石 - オフィオライト -」(小出良幸・新井田秀一)
・神奈川の自然シリーズ1「丹沢の化石サンゴ礁」(門田真人)
・ライブラリー通信「マラコフィラテリーって何だ?」(土屋定夫)
・新収資料紹介「カーティスのボタニカル・マガジン」(木場英久)

- Vol.2, No.3 Aug. 1996 (通巻 6号)
・表紙「ヒナチドリ」(勝山輝男)
・学芸員研究ノート「酒匂川上流のリップルマーク」(今永 勇)
・「生命の星・地球博物館のボランティア」(田中徳久)
・「神奈川県自然の危機を告げるレッドデータ生物」(浜口哲一)
・神奈川の自然シリーズ2「相模湾の魚類相 - 研究の現状と今後」(瀬能 宏)
・ライブラリー通信「フーパーあれこれ」(土屋定夫)
・新収資料紹介「ダイヤモンド」(山下浩之)

- Vol.2, No.4 Nov. 1996 (通巻 7号)
・「1994年の神奈川」(新井田秀一)
・学芸員研究ノート「照葉樹林を舞うミナミヤンマ」(苅部治紀)
・「神奈川県植物誌の改訂」(勝山輝男)
・「ミュージアムライブラリーについて」(土屋定夫)
・博物館実習を終えて (平成8年度博物館実習生)
・神奈川の自然シリーズ3「箱根のコケ」(生田智哉)
・ライブラリー通信「博物画家の伝記」(土屋定夫)
・新収資料紹介「櫻井コレクションの魅力へ地質時代を彩る化石標本へ」(松島義章)

- Vol.3, No.1 Feb. 1997 (通巻 8号)
・表紙「曹長石」(平田大二)
・学芸員研究ノート「化石動物群」(樽 創)
・「櫻井欽一博士とその足跡 - 出逢いと運命 -」(濱田隆士)

- ・「特別展で展示される櫻井欽目標本の内容」(加藤 昭)
・神奈川の自然シリーズ4「岩石の宝庫 - 酒匂川」(山下浩之)
・ライブラリー通信「困った時の櫻井文庫」(土屋定夫)
・新収資料紹介「オオカミの頭骨」(中村一恵)

- Vol.3, No.2 May. 1997 (通巻 9号)
・表紙「アカバナヒメワカガミ (イワウメ科)」(勝山輝男)
・研究ノート「地球の大地を作る岩石 - 花崗岩 -」(小出良幸)
・友の会ができました! - ライブ博物館をつくりましょう - (濱田隆士)
・「平成7年度及び8年度に実施した来観者動向基礎調査分析結果からの考察」(奥野花代子・佐渡友陽一)
・神奈川の自然シリーズ5「大磯海岸の貝化石」(田口公則)
・ライブラリー通信「人魚の涙」(土屋定夫)
・新収資料紹介「マルガタクワガタ類」(苅部治紀)

- Vol.3, No.3 Aug. 1997 (通巻 10号)
・表紙「ポポロフオネウスとディニクティス」(樽 創)
・学芸員研究ノート「ニホンオオカミはなぜいなくなったのか?」(中村一恵)
・「博物館とインターネット」(鈴木智明)
・「城ヶ島が『島』でなくなる日〜巨大地震と地殻の変動〜」(平野 聡)
・神奈川の自然シリーズ6「ニホンザル」(広谷浩子)
・ライブラリー通信「人類はまた、ヘルポップに逢えるのか?」(土屋定夫)
・新収資料紹介「斜長岩とエクログナイト」(平田大二)

- Vol.3, No.4 Nov. 1997 (通巻 11号)
・表紙「城ヶ島」(平田大二)
・研究ノート「中国内蒙古自治区の生物調査隊に参加して」(木場英久)
・「カキの生活と進化 - 岩礁性生物が泥底で生きる知恵 -」(鎮西清高)
・「ヒルゲンドルフと神奈川県」日本の魚学・水産学事始め - フランツ・ヒルゲンドルフ展 -」に上せて」(矢島道子)
・神奈川の自然シリーズ7「入生田のきのこ」(生田智哉)
・ライブラリー通信「レッドデータブックにさよならを」(土屋定夫)
・資料紹介「古瀬コレクション〜古瀬義氏採集植物標本〜」(勝山輝男・高橋秀男)

- Vol.4, No.1 Mar. 1998 (通巻 12号)
・表紙「ラブカ (カグラザメ目ラブカ科)」(瀬能 宏)
・研究ノート「岩石の化学組成を調べる」(川手新一)
・「ユニバーサル・ミュージアムをめざして」(3周年記念実行委員会)
・「『多様な新世界の住人たち』より - アリの巻 -」(小林秀司)
・神奈川の自然シリーズ8「三浦の名がついたミウラニシキガイ」(田口公則)
・ライブラリー通信「オキナエビスの笑顔」(土屋定夫)
・資料紹介「動物遺体の収集」(大島光春)

- Vol.4, No.2 May. 1998 (通巻 13号)
・表紙「大草原の大きな湿地」(木場英久)
・研究ノート「魚学史 - 日本の魚を研究した人たち」(瀬能 宏)
・「日本最初の本格的な水産学徒 - 内村鑑三」(影山昇)
・神奈川の自然シリーズ9「神奈川の植物群落」(田中徳久)
・ライブラリー通信「植物学と植物画」(内田 潔)
・資料紹介「地球観測衛星ランドサットと地図のデジタルデータ」(新井田秀一)

- Vol.4, No.3 Sept. 1998 (通巻 14号)
・表紙「二宮層とそれを切る断層」(田口公則)
・研究ノート「不思議なカビの恋愛事情」(出川洋介)
・「3月に発見されたミヤマクワガタを考える」(高桑正敏)
・「カラバチア山脈のオオカミとイノシシ」(神崎伸夫)
・神奈川の自然シリーズ10「神奈川県西部の活断層と地震」(松田時彦)
・ライブラリー通信「雑草を知るための本」(内田 潔)
・資料紹介「ニホンジカの頭骨標本の収集と利用」(広谷 彰)

- Vol.4, No.4 Dec. 1998 (通巻 15号)
・表紙「火山玉石」(平田大二)
・研究ノート「空飛ぶ動物のつばさ」(大島光春)
・「南アフリカのダイヤモンド鉱山巡り」(山下浩之)
・「牛糞由来の腐化植物」(勝山輝男)
・神奈川の自然シリーズ11「小さなモグラ・ヒメミズは何処へ」(山口佳秀)
・ライブラリー通信「注目される企業博物館」(内田 潔)
・資料紹介「小田原コレクション - 小田原利光博士収集のカニ標本 -」(村岡健作)

- Vol.5, No.1 Mar. 1999 (通巻 16号)
・表紙「メダカ」(瀬能 宏)
・研究ノート「ツメタガいの殻とせせん」(佐藤武宏)
・「素晴らしい箱根の自然」(蛭子貞二)
・「太古の地球への旅 - 西オーストラリアの地質調査 -」(小出良幸)

- ・ライブラリー通信「桜」(内田 潔)
・資料紹介「正宗敏敬博士・福山伯明博士により記載されたラン科植物のタイプ標本」(勝山輝男)

- Vol.5, No.2 June, 1999 (通巻 17号)
・表紙「ヘリコーマ属 (カビ) の一種」(出川洋介)
・研究ノート「地下水の利用と保全 - 有機塩素系化合物による地下水の汚染と対策 -」(長瀬和雄)
・「より自然なトンボ池づくりのために - トンボ池の功罪、水草にご注意 -」(苅部治紀)
・「神奈川の自然シリーズ12 神奈川の腐生ラン」(勝山輝男)
・ライブラリー通信「里山」(内田 潔)
・資料紹介「地層のはざ取り資料」(田口公則)

- Vol.5, No.3 Aug. 1999 (通巻 18号)
・表紙「ゴホンツノカブトムシ」(苅部治紀)
・「昆虫の脚はなぜ6本か? 翅はなぜ4枚か?」(東城幸治)
・「神奈川県地震の観測と研究」(横山尚秀)
・「学習指導員の仕事」(学習指導員)
・ライブラリー通信「谷戸・谷津」(内田 潔)
・新収集資料紹介「モロッコとロシアの三葉虫」(田口公則)

- Vol.5, No.4 Nov. 1999 (通巻 19号)
・表紙「珪化木アラウカリオキシロン」(大島光春)
・「昭和天皇の自己実現と生物学研究へ支えた知的探求心と旺盛な気力」(影山昇)
・「高校1年生の博物館への意識 - 関心度調査」(奥野花代子・永野文子)
・「オーストラリアの地質調査」(山下浩之)
・ライブラリー通信「迫 (さこ)」(内田 潔)
・資料紹介「酒井恒博土画・カニ類の原色細密画」(佐藤武宏)

- Vol.6, No.1 Mar. 2000 (通巻 20号)
・表紙「イレズミンニャクアジ」(瀬能 宏)
・研究ノート「美しさを隠したカミキリムシ」(高桑正敏)
・展示シリーズ1「カワウ」(中村一恵)
・神奈川の自然シリーズ13「神奈川のモリアオガエル」(新井一政)
・「博物館は宝の山!〜博物館資料の活用〜」(開館5周年記念事業実行委員会)
・ライブラリー通信「自然誌と自然史その1」(内田 潔)
・資料紹介「澤田コレクション - 澤田武太郎氏収集の書籍と植物さく葉標本 -」(田中徳久)

- Vol.6, No.2 June. 2000 (通巻 21号)
・表紙「ニホンザルの新生児」(広谷浩子)
・「霊長類の行動と進化」(長谷川眞理子)
・「博物館における新しい科学教育の可能性を求めて」(小出良幸)
・展示シリーズ2「ストロモトライト - 酸素大発生を謎を解く石 -」(平田大二)
・神奈川の自然シリーズ14「今、小田原のメダカが危ない - 善意?の放流と遺伝子汚染」(瀬能 宏)
・ライブラリー通信「自然誌と自然史その2」(内田 潔)
・資料紹介「ソウの歯〜標本の身上調査は慎重に〜」(樽 創)

- Vol.6, No.3 Sept. 2000 (通巻 22号)
・表紙「ササラダニ - どこにでもいる善良なダニ -」(青木淳一)
・「おおらかなマメ科の複製」(木場英久)
・「切手が語る魚類の世界」(功川欣三)
・展示シリーズ3「マッコウクジラ」(山口佳秀)
・「でるかかな!? 三葉虫〜特別展プログラム - 化石ジュエル割り体験〜」(田口公則)
・神奈川の自然シリーズ15「江ノ島の海食地形」(今永 勇)
・ライブラリー通信「ダーウィンブームの予感」(内田 潔)
・資料紹介「落合変形菌類コレクション」(出川洋介)

- Vol.6, No.4 Dec. 2000 (通巻 23号)
・表紙「南極海のアホドリ」(中村一恵)
・研究ノート「マンガルの巨大なカニと貝」(佐藤武宏)
・「チリを歩けば火山にある - 太平洋の向こう側、南米チリの火山の様子 -」(平田大二)
・展示シリーズ4「エドモントサウルス」(大島光春)
・「博物館の観察会も進化する? - 2つの自然観察会から考えたこと -」(広谷浩子)
・ライブラリー通信「ピオートの流行」(内田 潔)
・資料紹介「昆虫タイプ標本 - 世界の共有財産 -」(苅部治紀)

- Vol.7, No.1 Mar. 2001 (通巻 24号)
・表紙「愛川町で発見されたイトアメンボ」(高桑正敏)
・「ヤマトシジミ - 河川漁業を支える汽水生物の現状 -」(根本隆夫)
・展示シリーズ5「大空を舞う種子、ハネフクベ」(田中徳久)
・神奈川の自然シリーズ16「半円越え地学ハイキング」(田口公則)
・「博物館は知識の百貨店 - 菌類班でのボランティア活動 -」(沢田美美子)

- ・ライブラリー通信『ウムウシ』本 (内田 潔)
- ・資料紹介「グリーンランドの岩石」(山下浩之)

Vol.7, No.2 June.2001 (通巻 25号)

- ・表紙「神奈川を代表する植物」(田中徳久)
- ・『神奈川県植物誌2001』の分布図から分かること(田中徳久)
- ・「ナベツル〜冬の到来を告げる黒いツル〜」(加藤ゆき)
- ・展示シリーズ6「マッコウクジラの骨格標本」(山口佳秀)
- ・「忘れえぬ3人の外来研究員」(出川洋介)
- ・ライブラリー通信「ケンベル」(内田 潔)
- ・資料紹介「20万分の1ランドサット地図」(新井田秀一)

Vol.7, No.3 Sept.2001 (通巻 26号)

- ・表紙「桂林、景勝なり」(小出良幸)
- ・「擬蜂虫〜ハチを見たらハチでないとと思え〜(1)」(高桑正敏)
- ・「環境指標としてのタンポポとササラダニ」(加藤利奈)
- ・展示シリーズ7「草の化石ではありません-コマチアイト-」(山下浩之)
- ・「高校生が感じた県立生命の星・地球博物館」(関口康弘)
- ・ライブラリー通信「ケンベルとバーニー」(内田 潔)
- ・資料紹介「ムカシオオホシジロザメ」(樽 創)

Vol.7, No.4 Dec.2001 (通巻 27号)

- ・表紙「カンガルー・ポー」(田中徳久)
- ・「恐竜のかたちと暮らし」(大塚則久)
- ・「ブラックバス問題-最近の動向、そしてこれから必要なことは?-(瀬能 宏)
- ・展示シリーズ8「イネ科植物の歴史」(木場英久)
- ・ライブラリー通信「図鑑の元祖」(内田 潔)
- ・「特別展『地球を見る』のポスター」(新井田秀一・田口公則)

Vol.8, No.1 Mar.2002 (通巻 28号)

- ・表紙「スズメバチにそっくりなコシアカスカシバ」(高桑正敏)
- ・「擬蜂虫〜ハチを見たらハチでないとと思え(2)」(高桑正敏)
- ・「恐竜が描かれるまで」(小田 隆)
- ・「ニホンザルがムササビを襲う」(頭本昭夫・広谷浩子)
- ・ライブラリー通信「モースの『臨海実験所』跡地を巡る謎」(内田 潔)
- ・「恐竜手づくりプロジェクト」(田口公則・大島光春)

Vol.8, No.2 Jun.2002 (通巻 29号)

- ・「カリナンダイヤモンド(複製)」(山下浩之)
- ・「ブラックバスによるトンボ類の被害」(古澤博之)
- ・「渡り鳥はどこからどこへ? -鳥類の標識調査-」(加藤ゆき)
- ・「特別展『人と大地と-Wonderful Earth-』開催にあたって」(平田大二)
- ・ライブラリー通信「『月刊むし』が揃いました」(篠崎淑子)
- ・「地学W杯〜ジャンボブックピックス展示の紹介〜」(山下浩之)

Vol.8, No.3 Sept.2002 (通巻 30号)

- ・表紙『『夢虫』オオトラカミキリ』(高桑正敏)
- ・「小笠原の固有昆虫は今」(宍部治紀)
- ・「本州唯一のナベツル越冬地『山口県熊毛町八代』-人とツルの新たな共生をめざして-」(清水利宏)
- ・「秋の鳴く虫-コオロギとキリギリスはどこが違う?」(中原直子)
- ・ライブラリー通信「レバンの蝶」(篠崎淑子)
- ・展示シリーズ9「アンモナイトの壁をじっくり見よう」(田口公則)

Vol.8, No.4 Dec.2002 (通巻 31号)

- ・表紙「イモリ」(丸野内淳介)
- ・「謎の菌類の『謎』を解明! -箱根から再発見された謎の菌類、エニグマトミクス-」(出川洋介)
- ・「神奈川県立生命の星・地球博物館における大型魚類標本の搬入と保管」(瀬能 宏)
- ・「特別展『ザ・シャーク〜サメの進化と適応・ケースコレクションより〜』」(樽 創)
- ・ライブラリー通信「1971年の『SCIENCE』を探せ」(篠崎淑子)
- ・資料紹介「チゴハヤブサの剥製」(加藤ゆき)

Vol.9, No.1 Mar.2003 (通巻 32号)

- ・表紙「ラブルベニア属(カビ)の一種-昆虫体表に生きる究極の菌類-」(出川洋介)
- ・「細胞性粘菌という不思議な生き物」(川上新一)
- ・「神奈川の哺乳類図鑑-野生動物が大好きな、あなたへの一冊-」(中村一恵)
- ・「フジの花の半回転」(木場英久)
- ・「神奈川の自然シリーズ17「波の下のギリギリのバランス」」(佐藤武宏)
- ・ライブラリー通信「レファレンスの話」(篠崎淑子)
- ・資料紹介「山水の世界に自然の不思議さを楽しむ-水石-」(平田大二)

Vol.9, No.2 June.2003 (通巻 33号)

- ・表紙「サラサヤンマ」(宍部治紀)
- ・「擬態虫-ハチを見たらハチでないとと思え-(3)」(高桑正敏)
- ・「私たち、中国から来ました-森林性移入鳥類の現状-」(川上和人)
- ・「移入種点描 ニュージーランドの場合」(田中徳久)
- ・ライブラリー通信「レッドデータブック」(篠崎淑子)
- ・「宙瞰図 鳥を越えた視点」(新井田秀一)

Vol.9, No.3 Sept.2003 (通巻 34号)

- ・表紙「セイタカダイオウ(タデ科)」(勝山輝男)
- ・「オガサワラオオコウモリを次の世代に残す」(稲葉 慎)
- ・「シツキム・ヒマヤの植物調査」(勝山輝男)
- ・展示シリーズ10「恐竜の足跡の壁」(大島光春)
- ・ライブラリー通信「横浜の植物」(篠崎淑子)
- ・「箱根神山3テフラおよび始良-丹沢テフラの剥ぎ取り標本」(山下浩之)

Vol.9, No.4 Dec.2003 (通巻 35号)

- ・表紙「丹沢空撮」(田中徳久)
- ・「フィリピンで箱根を考える」(萬年一剛)
- ・研究ノート「アジアの大豆発酵食品」(出川洋介)
- ・「博物館と行動観察-もうひとつの評価法-」(広谷浩子)
- ・ライブラリー通信「丹沢を楽しむ」(篠崎淑子)
- ・資料紹介「サンタナ層の化石」(大島光春)

Vol.10, No.1 Mar.2004 (通巻 36号)

- ・表紙「ジャイアント・コーズウェイ(巨人伝説を生んだ柱状節理)」(平田大二)
- ・「擬蜂虫〜ハチを見たらハチでないとと思え(4)」(高桑正敏)
- ・「ヒマヤの植物から学んだこと」(木場英久)
- ・ライブラリー通信「貝の本」(篠崎淑子)
- ・「神奈川の自然シリーズ18「化石の古さ(小柴層のアケボノウウ)」」(樽 創)

Vol.10, No.2 Jun.2004 (通巻 37号)

- ・表紙「カンテンダコ」(佐藤武宏)
- ・「丹沢山地とスイスアルプス」(今永 勇)
- ・「豆博士達の大活躍!」(出川洋介)
- ・展示シリーズ11「ヒマヤの”リップルマークの壁”」(田口公則)
- ・ライブラリー通信「ロクショウガサレキって何?」(篠崎淑子)
- ・展示シリーズ12「クジラつり(マッコウクジラの骨格)」(大島光春)

Vol.10, No.3 Sept.2004 (通巻 38号)

- ・表紙「カジカガエル」(新井一政)
- ・「火砕流のL・M・S」(笠間友博)
- ・「魚類写真資料データベース-市民との協働で築かれた研究ツール-」(瀬能 宏)
- ・ライブラリー通信「Bonin Islands」(篠崎淑子)
- ・「雲南の植物」(田中徳久)

Vol.10, No.4 Dec.2004 (通巻 39号)

- ・表紙「キマダラヒリアシキバチ(キバチ科)」(高桑正敏)
- ・展示シリーズ13「展示室に流れる、見えない水の話」(平田大二)
- ・「展示にもうひとつ味プラスしたら」(広谷浩子)
- ・展示シリーズ14「最小のネズミ『カヤネズミ』」(山口佳秀)
- ・ライブラリー通信「地震に備える」(篠崎淑子)
- ・「企画展の“かながわくん”から考える『+2℃の世界』から『-CO₂の世界』へ」(田口公則)

Vol.11, No.1 Mar.2005 (通巻 40号)

- ・表紙「蔵王の樹氷」(大島光春)
- ・「博物館と大学」(青木淳一)
- ・「丹沢の異変と再生」(勝山輝男)
- ・「博物館にまつわる数字」(大島光春)
- ・展示シリーズ15「ジャンボブック展示トピックスコーナー」(山下浩之)
- ・ライブラリー通信「子どもの本」(篠崎淑子)
- ・資料紹介「オオタカ」(加藤ゆき)

Vol.11, No.2 Jun.2005 (通巻 41号)

- ・表紙「ホトケドジョウ(部分白化個体)」(荒尾一樹・瀬能 宏)
- ・「風化火山灰のふしぎな世界」(笠間友博)
- ・「礫の付着生物に見られる生き残るための工夫」(佐藤武宏)
- ・展示シリーズ16「森の開拓者・霊長類の食虫類」(山口佳秀)
- ・ライブラリー通信「カーチスの植物雑誌」(篠崎淑子)
- ・「ポスター・とびらデザイン人気投票」(樽 創)

Vol.11, No.3 Sept.2005 (通巻 42号)

- ・表紙「黒いアクトンボ 青いアクトンボ」(宍部治紀)
- ・展示シリーズ17「化石コレクターな地層-ブンデンパッハ産化石動物群-」(石浜佐栄子)

- ・「鳥類のレファレンスから思うこと」(加藤ゆき)
- ・「神奈川の自然シリーズ18「草原の保全」」(田中徳久)
- ・ライブラリー通信「骨を読む」(篠崎淑子)
- ・「特別展「化石どうぶつ園」での新しい試み」(大島光春)

Vol.11, No.4 Dec.2005 (通巻 43号)

- ・表紙「ビジャリカ(Villarica)火山山頂火口」(萬年一剛)
- ・「魚類資料の整理-ステップ化とコード化によるボランティア参加の実現-」(瀬能 宏)
- ・「多彩に展開される“ミュージアム・リレー”第100走を迎えて」(奥野花代子)
- ・「アケティブな火山に登る」(萬年一剛)
- ・ライブラリー通信「宝石・貴金属大事典」(篠崎淑子)
- ・「東丹沢にあるロマンの緑石〜石ころの探究活動〜」(田口公則)

Vol.12, No.1 Mar.2006 (通巻 44号)

- ・表紙「スポロディニエラ・ウンベラータ」(出川洋介)
- ・「灯台下暗し〜知らされていない博物館対岸の山〜」(山下浩之)
- ・「宇宙から見た三浦半島」(新井田秀一)
- ・「神奈川の自然シリーズ19「人生田のカエル」」(新井一政)
- ・ライブラリー通信「しほばらをつくらう」(篠崎淑子)
- ・「まぼろしのカビとの再開-昆虫に生える珍しいカビ-」(出川洋介)

Vol.12, No.2 Jun.2006 (通巻 45号)

- ・表紙「ナカムラギンメとオカムラギンメ」(瀬能 宏)
- ・「ちょっとした時間に野鳥を楽しむ」(加藤ゆき)
- ・「ふしぎな生きもの 菌類〜動物?植物?それとも?〜」(出川洋介)
- ・展示シリーズ18「砂漠に咲く花〜デザート・ローズ〜」(平田大二)
- ・ライブラリー通信「コケの魅力」(篠崎淑子)
- ・「愛らしいゴキブリたち」(高桑正敏)

Vol.12, No.3 Sept.2006 (通巻 46号)

- ・表紙「海水を飲みに来るアオナト」(加藤ゆき)
- ・「“The present is the key to the past”-過去の謎を現在から解き明かす-」(石浜佐栄子)
- ・「2005年のスタンディングから」(樽 創)
- ・ライブラリー通信「美しき菌類」(篠崎淑子)
- ・「中国科学院昆明動物研究所の昆明動物博物館を訪ねて」(松島義章)

Vol.12, No.4 Dec.2006 (通巻 47号)

- ・表紙「展示室で虹色を楽しむ」(田口公則)
- ・「チャートという岩石」(斎藤靖二)
- ・展示シリーズ19「食虫目アズマモグラ」(山口佳秀)
- ・「色と形から見る『につぼん』『パノラマにつぼん』を楽しむために」(新井田秀一)
- ・ライブラリー通信「玉虫厨子のタマムシ」(篠崎淑子)
- ・「哺乳類標本ができるまで」(広谷浩子)

Vol.13, No.1 Mar.2007 (通巻 48号)

- ・表紙「おしべが花卉になる桜」(木場英久)
- ・「昆虫担当芸芸員と昆虫の保全活動」(宍部治紀)
- ・「砂と腐油で楽しむ火山づくり」(笠間友博)
- ・ライブラリー通信「パノラマにつぼんが終わっても」(篠崎淑子)
- ・「南アルプスの高山植物が消える?」(勝山輝男)

Vol.13, No.2 Jun.2007 (通巻 49号)

- ・表紙「漢翠山」(田中徳久)
- ・「標準和名とは? 差別的語を含む鳥類の標準和名の改名をめぐる」(瀬能 宏)
- ・「特別展 ナウマンゾウがいた! ~温暖期の神奈川への紹介」(樽 創)
- ・ライブラリー通信「ライブラリーの図書・雑誌検索スタート!」(篠崎淑子)
- ・「身近なツボカビを観察しよう-カエルの感染症で話題となった菌類の素顔-」(出川洋介)

Vol.13, No.3 Sept.2007 (通巻 50号)

- ・表紙「祝・通巻50号!」(石浜佐栄子)
- ・「博物館が博物館でありつづけるために」(斎藤靖二)
- ・「館外の研究者やボランティアと協働した箱根火山の調査研究」(山下浩之)
- ・「神奈川県レッドデータ生物調査の本来の目的に向けて」(高桑正敏)
- ・「テトラサウルス科属計画!」(大島光春)
- ・「取蔵システムのデータを世界に発信-GBIFへのデータ提供」(広谷浩子)
- ・「もつとも厳しい講座?「神奈川トンボ調査隊」の活動:年間講座の試みから」(宍部治紀)
- ・「来館者や芸芸員とのコミュニケーションにより発展する展示解説」(佐藤武宏)
- ・ライブラリー通信「世界の切手展〜ライブラリーに送られてきた郵便物の切手〜」(篠崎淑子)